

長尾和宏尊厳死協会副理事長が原作・医療監修

# 映画『痛くない死に方』が今春公開

愛する家族を、できるだけ穏やかに、苦しませずに旅立たせることは在宅医療なら可能——そう思い込んでいる人は少なくないかもしれません。しかし在宅医療にも当然ながら、光と影があります。そんな尊厳死のリアルを描いた映画『痛くない死に方』が公開されます。



この映画は、長尾和宏医師の2冊の本「痛い在宅医」と「痛くない死に方」を原作とし、『TATOO（刺青）あり』『愛の新世界』『光の雨』など、剥き出しの人間性を描くことで知られる高橋伴明が、脚本と監督を手掛けた問題作。

肺がん末期の父親の在宅看取りに失敗した智美（坂井真紀）は、在宅医・河田（柄本佑）を、父の亡骸の前で責め立てます。自分の何がいけなかったのか……自信を喪失した河田は、大先輩の在宅医である長野（奥田瑛二）のもとを訪れ修行をすることに。長野のやり方は、大胆不敵で当初河田は面食らうのだが、そこで「リビングウイル」の存在を知り、「病気でなく人間をまるごと診る」医師へと成長していく――。

訪問看護師役には余貴美子、尊厳死を望む夫婦役として宇崎竜

童、大谷直子と、高橋監督が久しぶりにメガホンを取るということで、錚々たる役者が集まりました。「私の原作が映画になるなんて感無量。10年かけて言い続けてきたことがすべてこの作品に集約されています」と長尾医師。

同時に、尼崎を舞台に長尾医師の在宅医としての日常を追いかけたドキュメンタリー映画『けったいな町医者』も公開される予定です。

## 『痛くない死に方』 ～在宅医と患者と家族の物語～

監督・脚本／高橋伴明  
原作／長尾和宏（『痛い在宅医』  
『痛くない死に方』ブックマン社刊）  
出演／柄本佑 坂井真紀 余貴美子  
大谷直子 宇崎竜童 奥田瑛二  
製作／『痛くない死に方』制作委員会  
2/20より＜シネスイッチ銀座＞他、  
全国映画館にて順次公開予定。  
長尾医師も、時間の許すかぎり舞台挨拶に回る  
そうです。詳しい日程は、映画公式サイトにて  
→ <https://itakunaishinikata.com>